

二十日松岡會長ハ社會局勞働部長ヲ訪問別記建議案ヲ提出セリ
右及申(通)報候也

産業及勞働統制ニ関する建議

刻下の非常時の諸状況に當りては、國家の前途に深憂に堪へざるに
可き不慮の事。言ふまでもなく之を打開は國民の一致協力に依らざ
れば断じて不可能であります。而して國民の一致協力は、健全なる國民
經濟の再建に、國民生活の安定を圖り、以て階級対立の原因を除きす
るに非ざれば是の先鞭を期するとは出来ぬのであります。故に國家の
産業及勞働政策は、茲に是の根本を基調と置き、資本の不當なる権取を打倒す
ると共に、勞働の統制と規律を得へ、進んで産業協力の實を挙げらるべき不
絶対必要ありと確信致します。
打倒資本の勢力を推弱、經濟組織を再建するは、あらゆる問題の何れの解決と
許さず、國家の大命に立つところの全面的解決を要求するに存ります。
されば吾れ刻下の重要問題たる農村、中小工業、日商、思想の諸問題も叙述
せる産業及勞働政策と致さずは全く是の解決不可能ありと言はねばならぬの
であります。
不肖、日本勞働總同盟中央委員会の大試に準據し、別記要綱を改定とする産業勞
働統制審議会設置を建議する。後者は一ツに茲に在るべきであります。
希くは閣下の英断により我等の誠意を採用され、非常時局を打開し、以つて
日進の隆盛を招来せられんことを

昭和八年十一月十七日

日本勞働總同盟
會長 松岡 駟吉